

ロシア極東(沿海地方・アムール州)への官民ミッション派遣

～水産業・農業の視察と現地ニーズの聴取、意見交換会～

参加企業・団体募集のお知らせ【第2報】

1. 趣旨

弊法人北海道総合研究調査会は、農林水産省委託事業「平成 31 年度 海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業（ロシア）」を受託したことを受け、農林水産省が実施する農林水産・食品関連企業のロシア極東への事業展開を支援するための官民ミッション派遣の事務局を務めております。

本ミッション派遣は、平成 28 年 5 月の首脳会談において安倍総理からプーチン大統領に提案された「8 項目の協力プラン」を推進するために農林水産省が設置した「ロシア極東等農林水産業プラットフォーム」の活動の一環として実施されるもので、本年度 2 回目の派遣となります。

今次派遣は、貿易や投資の拡大が期待される水産物及び穀物分野を対象に、2019 年 10 月 28 日(月)～11 月 1 日(金)にかけてロシア極東の沿海地方及びアムール州を往訪し、①水産物の日露間直接取引拡大に向けた官民の意見交換、②水産物及び穀物の日本への輸出拡大の検討のための加工現場及び物流施設視察、③パートナー候補となるロシア企業や政府機関とのネットワークの構築、などロシア極東で水産物及び穀物関連のビジネスを検討されている皆様の事業展開の実現に資する取組を行うことを目的としています。

皆様におかれましては、積極的な参加をご検討頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

2. 参加予定者(調整中)

15 名程度。日本民間企業（漁業法人、農業法人、農水産物取扱商社、物流関連事業者、機器メーカー等を想定）、農林水産省、在ウラジオストク日本国総領事館等のほか、事務局及び通訳が同行予定。

3. 参加者の募集

- 別添申込書に記入の上、10 月 18 日(金)までに 送付願います。応募者数が予定人数に達すると募集を締切ることがございます。ご不明な点は下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
- 参加者は 現地での集合・解散とし、航空運賃、宿泊費、食費等は、自己負担を基本 としています。視察中は団体行動を原則とします。
- 航空券と宿泊先は、旅行代理店等を通じて各自でご手配ください。ただし、集合するホテル等は統一させていただきます。手配においてご不明な点は事務局までお問合わせください。
- 団体行動中の移動につきましては、事務局が手配する車両を無料でご利用頂けます。それ以外については、各自で手配願います(ホテルでタクシーを手配することは可能です)。

4. スケジュール(調整中)

日付(曜日)	内 容
10月27日(日)	[移動] 日本→ウラジオストク (例: S7 航空 14:35 発 18:30 着 ほか)
10月28日(月)	[集合] プリモリエホテル ロビー [訪問] 企業グループ ドブロフロート (ロシアの水産加工品市場について) [視察] ウラジオストク漁港 (水産品の貿易拡大について) [訪問] 沿海地方水産企業協会 (投資割当制度による水産業の変化について)
10月29日(火)	[訪問] 連邦動植物検疫局 (貿易手続、直接取引の可能性等について) [訪問] 沿海地方政府漁獲水産資源部 (ウラジオストク水産市場開設、日本への輸出拡大等について)
10月30日(水)	[移動] ウラジオ→ブラゴベシチェンスク IrAero 106 便 14:10 発 15:00 着 [集合] ビジネスホテル グロリア ロビー [視察] 大豆関連倉庫など (調整中)
10月31日(木)	[訪問] アムール州政府 農業省、対外関係省ほか (日本への輸出拡大に向けて) [交流会] 貿易拡大に向けた現地企業との交流会 (参加候補企業: (有)クラスナヤ・ズベスダ、セルィシェフスキー生産地帯、オクチャープリスキー・エレヴァートル、アムールアグロコンプレクス、企業グループ「ヤンタ」、(有)ソーヤ、(有)ルースコエ・ポーリエ、KFKh S.E.F、MTS アムール、(有)オグロニンスコエ、アジア太平洋銀行、他)
11月1日(金)	[視察] 郊外の生産現場、物流施設、保存倉庫等の視察 (調整中)
11月2日(土)	[移動] ブラゴベシチェンスク→日本 (ウラジオ経由等)

※1 別添「訪問先リスト(沿海地方、アムール州)」記載企業を中心に、沿海地方では水産物・水産加工品に関する日本との直接取引や貿易・投資拡大を増やすことをテーマに、アムール州では大豆等の穀物の高付加価値化や輸出拡大をテーマに現地地方政府・企業の視察・訪問できるよう調整を行っておりますが、訪問先等に関するご意見・ご要望等がございましたら参考にさせていただきますので、ミッション参加の有無に関わらずご連絡下さい。

※2 スケジュールは調整段階のものであり、参加表明企業の御意向、領事館、ロシア政府機関、ロシア企業との調整等により変更する場合がございます。予めご了承下さい。

5. お問い合わせ・参加申込先

事務局：一般社団法人北海道総合研究調査会 (HIT) 古宮山 晴香 (こみやま はるか)
 【TEL】011-222-3669 【FAX】011-222-4105 【Email】r-seminar@hit-north.or.jp
 (参考) 事業委託元: 農林水産省 大臣官房国際部 海外投資協力グループ 池田
 【TEL】03-3502-5914 【FAX】03-3502-8083 【Email】gfvf_maff@maff.go.jp

(参考) 各都市での集合ホテル

- ・ウラジオストク (月、火、水): Primorye Hotel, Vladivostok
 住所: Posyetskaya ul., 20, Vladivostok, Primorskiy kray, 690003, Russia
 TEL: +7423 241-14-22 URL: <https://en.hotelprimorye.ru/>
- ・ブラゴベシチェンスク (木、金): Business Hotel "Gloria"
 住所: Blagoveshchensk, 221 Amurskaya St. Amur region, 675000, Russia
 TEL: +7(4162) 53-47-76 URL: <https://hotelamur.com/>

参 加 申 込 書

官民ミッション「農業・水産業」 沿海地方・アムール州

2019 年 10 月 28 日(月) 集合 ～ 11 月 1 日(金) 解散

申込締切：2019 年 10 月 18 日(金) 必着

* 本申込書はご旅行に関わる諸手続きの基となる資料です。全て正確にご記入いただき、事務局担当者までご提出下さい。なお、本申込書は「お客様控え」がございません。ご提出前にコピーをとって保管いただきますようお願い申し上げます。

<記入欄>

ふりがな			性 別	企業・団体名
氏 名			☐ 男 ☐ 女	
メールアドレス	@			
旅行中の 国内連絡先	氏 名		続柄	
	〒		TEL :	
ロシアでの 連絡先	(携帯電話等をお持ちの場合) TEL :			
参加日程	☐ 全日程参加 ☐ 沿海地方(水産業)のみ参加 ☐ アムール州(農業)のみ参加			

<提出書類>

下記の書類を本申込書に添付して提出してください。

① パスポートのコピー

② 名刺のコピー(裏表)

<留意事項>

- ① 官民ミッションへの参加条件として、ロシア国内集合・解散を原則とし、航空券(ロシア国内での移動分含む)、ビザ取得費、宿泊費、食費等は自己負担となります。(ミッション行程管理に必要な現地車両借上費、通訳、資料翻訳費等は事務局が負担いたします。)
- ② 航空券、ビザ取得、宿泊先については参加者各自で手配いただきます。必要に応じ、事務局より旅行会社紹介による渡航支援をいたしますのでご活用下さい。
- ③ 宿泊先の事務局サポートが不要な方、かつ事務局推奨のホテルと異なる場所にご宿泊の方はミッション行程を円滑にするため、別途指定の場所まで時間厳守でお集まりいただきますようお願いいたします。
- ④ ロシアへは、有効期限が6ヶ月以上のパスポートが必要です。ご出発時点で有効期限が6ヶ月以下の場合は新たにパスポートを更新していただく必要があります。

<アンケート>（可能な範囲でお答え下さい。）

(1) 貴社の主な事業内容を記載して下さい。	(HP:)
(2) 貴社のロシアへの進出・投資実績について教えて下さい。	
(3) 貴社のロシア極東進出への関心、または今後の事業計画について記載して下さい。	
(4) 今回の官民ミッション参加における要望を記載して下さい。	
(5) ロシア極東への投資について	☐ 投資をしている ☐ 投資の予定がある ☐ 投資に関心がある ☐ 投資への関心はない
(6) 農業、水産分野で関心のあるビジネス、品目について記載して下さい。	
(7) 海外への投資事業の実績を教えてください。	☐ ある ☐ ない コメント（国名等）:
(8) ロシア産農作物、水産物の加工・販売実績を教えてください。	
(9) その他今回のミッションでの具体的関心及び訪問したい視察先があればご記入下さい。	

[お問い合わせ先] ご不明な点がございましたら、担当までお気軽にお問い合わせ下さい。

事務局：一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT） 古宮山（こみやま）

【TEL】011-222-3669

【FAX】011-222-4105

【Email】r-seminar@hit-north.or.jp

訪問先リスト(沿海地方、アムール州)

2019 年の第 2 回官民ミッションでは、下記の公的機関、民間企業等を中心に意見交換会と視察訪問を調整・検討しています。

1. 沿海地方	2
① 沿海地方政府 漁業水産資源部	2
② 沿海地方水産企業協会	2
③ ウラジオストク漁港	3
④ 連邦動植物検疫局	3
⑤ 企業グループ「ドブロフロート」	4
⑥ アクアテクノロジー	4
2. アムール州	5
① アムール州政府 農業省	5
② (有) クラスナヤ・ズベズダ	5
③ (有) セルィシェフスキー生産地帯	5
④ (有) オクチャープリスキー・イレヴァートル	6
⑤ (有) アムールアグロコンプレクス	6
⑥ 企業グループ「ヤンタ」	6
⑦ (有) ソーヤ	7
⑧ (有) ルースコエ・ポーリエ	7
⑨ KFKh “S.E.V.”	7
⑩ (株) MTS アムール	7
⑪ (有) オログニンスコエ	8
⑫ アジア太平洋銀行	8

※参加表明日本企業のご意向、ロシア側政府機関および民間企業との調整により、変更となる場合がございます。

1. 沿海地方

① 沿海地方政府 漁業水産資源部

代表: Nastavshev Sergey Mikhailovich (Director)

Web: <https://www.primorsky.ru/authorities/executive-agencies/departments/fishery/>

概要: 国家プロジェクト「国際協力と輸出」に基づき、沿海地方からの水産物輸出を強化している。2019 年上半期の水産物輸出は 6 億 9,600 万ドル (43 万 5 千トン以上) で、昨年同期と比較して 20.4% 増加した。中でも冷凍品の輸出は 40% 増加し、生産量の 64% が輸出されている。2024 年には、20 億ドル (76 万 4 千トン) の水産品輸出を目指している。

沿海地方では「2013 年～2021 年の水産業開発戦略」の中で、老朽船舶の更新、水産物の高度加工、養殖の振興、に取り組んでいる。2019 年 9 月現在、沿海地方の企業が所有する漁船は 457 隻 (大型 57 隻、中型 202 隻、小型 83 隻、タンカー 1 隻、海洋養殖用小型船舶 100 隻以上)。



② 沿海地方水産企業協会

代表: Martynov Georgiy Gennad'evich

Web: <http://arpp.pk.ru/>

概要: 沿海地方の水産業発展を目的として 1994 年に設立された公的機関。沿海地方で水産物の漁獲、加工、販売等に携わる企業 30 社以上が加盟している。同協会の評議会では加盟企業の中で共通の戦略的方针を定め、極東漁業協会、全ロシア水産企業協会などと密接に連携しながら生産能力の工場、物流ネットワークの改善、漁船団の更新、グローバル市場へ展開などに取り組んでいる。

マルトウイノフ会長は物流、水産企業の代表、ウラジオストク海洋部部長、沿海地方漁業水産資源部副部長を務めたのち現職。



③ ウラジオストク漁港(OAO Vladivostokskiy Morskoy Rybniy Port)

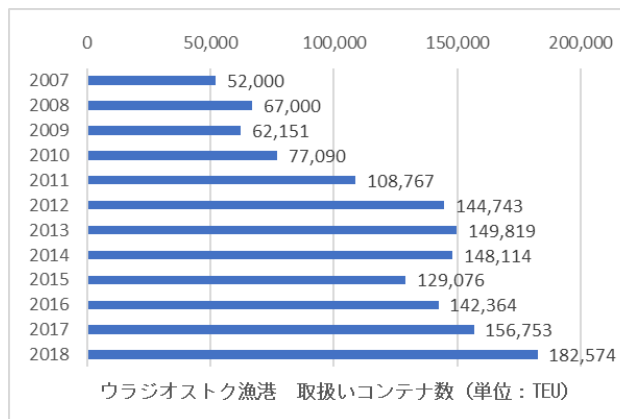
代表: Shevchenko Aleksandr Sergeevich

Web: <https://fishport.ru/>

概要: コンテナ船、一般貨物船、RoRo 船、フェリーなど様々な輸送船に対応。1 日の取扱コンテナ数は約 500 TEU で、年間の取扱数は図のとおり増加傾向にある。コンテナターミナルは埠頭が 53 個、総面積 50,000 m²以上、水深 9.5m。40 トンのガントリークレーン 4 台、25 トンのクレーン 2 台が稼働している。

倉庫容量は 1 万 6,000 トン以上、温度は 0℃～15℃まで調節可能。貨物用エレベータは最大 5 トンまで対応可能。港内には 10km 以上の鉄道が敷設されており、シベリア鉄道にアクセスできる。

水産物の取引に関して、各種書類の発行に対応している。



④ 連邦動植物検疫局 (Rossel'khoznadzor) 沿海地方・サハリン州支部

代表: Zdanovich Dmitry Georgievich

Web: <http://primorsk.fsvps.ru/index.htm>

概要: 動植物および農産物の衛生、殺虫剤・農薬の安全な使用、品質と安全性の分野において統制と監督を行い、動物由来の製品の輸入において許可書(衛生証明書等)を発行している。同局は 2004 年 3 月 9 日付け大統領令により設立し、2005 年 1 月から沿海地方に支部が置かれた。



⑤ 企業グループ「ドブロフロート」

代表: Efremov Aleksandr Vladimirovich

Web: <http://xn--90afwkbbltp.xn--p1ai/>

概要: 1911 年創業。ウラジオストクとモスクワに本社を持ち、イワシとサバの漁獲量で極東首位を誇る。所有船舶は漁船 15 隻、母船 3 隻、冷凍運搬船 6 隻。ロシア最大の蟹や魚の製造母船、フセボロド・シビルツェフ号も所有している。年間水揚げ量は 6 万トン。缶詰工場の生産能力は 1 日 50 万個、年間 1 億 2,000 万個の缶詰を生産している。

ロシアと旧ソ連諸国の主要都市に物流倉庫施設を保有し、冷凍倉庫は 1 万 8,000 トン、缶詰用常温倉庫は 3,300 万個を保存可能である。港は 3 か所(ユジノモルスコイ、リワディヤ、ボリショイ・カーメニ)を使用し、リワディヤ船舶修理工場で自社船の整備を行っている。



⑥ アクアテクノロジー

代表: Slepchenko Sergey Vladimirovich

Web: <https://sbis.ru/contragents/2537042030/253701001>

概要: 2000 年設立、漁獲、加工、卸売等に携わっている。ウラジオストク水産市場プロジェクトの主要パートナー企業。水産市場の面積は 1 万 5,000 m²、投資総額は約 8 億ルーブルを予定している。黄金橋の下、金角湾の海岸に建設する。着工予定は 2020 年、完成予定は 2022 年の第 1 四半期。住民投票により、屋上に公園のあるデザインが選ばれた。

建設責任者はウラジオストク自由港の入居企業「ファーライン DV」であり、ウラジオストク市から敷地 7,900 m²を借りている。施設内には活魚の保管施設や冷蔵施設、取引場、オフィス施設、競り市場、交渉室、飲食施設を設置する。



2. アムール州

① アムール州政府 農業省

代表: Turkov Oleg Aleksandrovich

Web: <https://agro.amurobl.ru/>

概要: アムール州はロシア極東最大の農業地帯であり、特に大豆の年間生産量は 120 万～150 万トン、ロシア極東の 69%を占めている。マザノフスキー地方、TOR ベロゴルスク、TOR プリアムーリエ等で投資プロジェクトを実施している。アジアへの輸出を強化するため、2019 年 7 月に同州対外経済発展省ほか民間企業 4 社と北海道を訪問した。



② (有) クラスナヤ・ズベズダ

代表: Fetelava Leri Shalovovich

関連記事: <https://www.ampravda.ru/2019/01/28/086501.html>

概要: トウモロコシや大豆等、穀物類の生産大手。特に大豆油、大豆粕の加工に力を入れている。播種面積 3 万 9,500ha で、今後も拡大する計画。1 日に 100 トン～120 トンの加工品を生産しており、生産能力の向上にも取り組む。その他、冬季における大豆油の保存が課題。機材は主に中国製を使用している。2019 年 7 月に北海道を訪問した。



③ (有) セルィシェフスキー生産地帯

代表: Mel'nichenko Dmitry Viktorovich

Web: <https://serishevskiy.ru/>

概要: 1999 年に創業。生産大手(有)「エム・エス・アグロ」の代表取締役企業。穀物(大豆、小麦、大麦、飼料用トウモロコシ)、乳製品、肉製品の製造を行っている。カッテージチーズの生産シェアはアムール州で 34%、ハバロフスク地方で 29%、ロシア極東で 15%を占めている。ロシア極東地域に自社の販売網 100 店舗以上を持つ。2019 年 7 月に北海道を訪問した。



④ (有) オクチャーブ・リスキー・エレヴァートル

代表: Dotsenko Viktor Stepanovich

Web: http://www.ved.gov.ru/rus_export/russian_exporters/?id=35375

概要: 1927 年設立、極東で最大の農業企業の 1 つ。エレベータ(5 万トン)、倉庫(2 万トン)、乾燥機、加工工場を有し、穀物関連の物流を担っている。エレベータは 24 時間で 1,200 トン以上を取扱可能。鉄道へのアクセスも良好で、ロシア全土に納品している。日本、中国、韓国への輸出にも意欲的。大麦、小麦、蕎麦などを取り扱っている。2019 年 7 月に北海道を訪問した。



⑤ (有) アムールアグロコンプレクス

代表: Tsaturov Evgeniy Vladimirovich

Web: <https://www.ampravda.ru/2019/09/12/090907.html>

概要: 2019 年の東方経済フォーラムでは中国 COFCO 社と 1,200 万ドルを超える大型契約を結び、最優秀輸出業者賞を受賞した。アムール州の 7 地区に 8 つの拠点をもち、穀物、じゃがいも、畜産品を生産している。2019 年の播種面積は 10 万 2,000 ha、10 年間で 5 倍に拡大した。年間 2 万 5,000 トンの大豆油と 1,200 トンのレシチンを輸出。2 万 4,000 トンの大豆粉の販売に向けて準備している。



⑥ 企業グループ「ヤンタ」

代表: Baimashev Evgeny Zakar'evich

Web: <http://www.yantacom.ru/>

概要: 1966 年創業。イルクーツク、アムール州等に穀物や畜産品の生産、物流、卸売拠点を持つ大手企業グループ。アムール州ベレゾフカに最大 9 万トン、ポヤルコヴォに最大 4 万 5,000 トンの大豆を貯蔵可能。ロシア国内に 12 の営業拠点をもち、アジア地域では駐在員事務所のある北京とパタヤのほか、ハルビン、バンコク、大阪にも販売代理店がある。



⑦ (有) ソーヤ

代表: Volobuev Fedor Viktorovich

Web: <https://www.rusprofile.ru/id/4181258>

概要: タンボフカ村で大豆の生産を行っている。日本企業との商談経験あり。同村では乾燥施設やエレベータ建設の大規模事業が相次いで進められ、対中輸出拡大の足がかりになると期待されていたが、全てが順調に進んでいるわけではない。



⑧ (有) ルースコエ・ポーリエ

代表: Ivashenko Vladimir Ivanovich

Web: <https://www.rusprofile.ru/id/3808499>

概要: 農機、農業用設備、農機具等の卸販売、農作物の栽培、油の製造、家畜用飼料の製造、設備の修理、穀物、肥料、農薬の卸販売を行っている。関連企業に(有)「カザンスコエ」、(有)「レビヤジエ」、(有)「アグロメチタ」など。



⑨ KFKh “S.E.V.”

代表: Sokolovsky Evgeniy Vladislavovich

関連記事: <https://www.ampravda.ru/2019/08/08/090210.html>

概要: 約 9 万ヘクタールの農地を有し、主に種イモを含むジャガイモを栽培している。うち、5 割はドイツ産の品種「ロザラ」を栽培しているほか、様々な品種のジャガイモを栽培している。ジャガイモ以外の作物として、赤ビーツ、ネギ、大豆、キャベツ、ラディッシュも栽培。TOYONOKI の農機を導入している。



⑩ (株) MTS アムール

代表: Ablamskiy Yury Valentinovich

Web: <https://sbis.ru/contragents/2820003884/282001001>

概要: ミハイロフスキー地区、ポヤルコヴォで穀物生産、酪農業を営む。年間の播種面積 2,200 ha であり、3,500 ha に拡大を目指している。2018 年 2 月に帯広を視察した。



⑪ (有) オログニンスコエ

代表: Muryshkin Igor Aleksandrovich

Web: <http://blagoveschensk7m.ru/company/ologninskoe-1092815000167>

概要: マグダガチンスキー地区で酪農業を営む。同地区には 3,565 ha の耕作地があり、うち 2,870 ha は穀物と大豆を生産している。農業への投資誘致プログラムが実施されているが、参加者がおらず補助金がおいていない。「極東ヘクタール」プログラムでは、同地区の 59 区画が無償提供された。同社社長は 2018 年 2 月に来日し、帯広を視察した。



⑫ アジア太平洋銀行

代表: Shchekina Elena Vladimirovna

Web: <https://www.atb.su/>

概要: 1929 年設立、ブラゴヴェシチェンスクに本社を置く銀行。シベリア及び極東で最大の地方銀行である。株式の 99%以上をロシア銀行所有。2019 年 7 月に同行北海道を訪問した。



以上